

令和3年度新宿区外部評価委員会 第2回会議概要

<開催日>

令和3年5月14日（金）

<場所>

本庁舎6階 第3委員会室

<出席者>

外部評価委員（14名）

星卓志、山口道昭、山本卓、上野麻美、君島淳二、桐山早苗、藤川裕子、松井千輝、
的場美規子、板本由恵、大西秀明、鱒沢信子、松永健、安井潤一郎

事務局（3名）

廣井副参事（特命担当）、坪内主査、勝山主査

<開会>

【会長】

皆さん、おはようございます。

ただいまから、令和3年度第2回新宿区外部評価委員会を開催いたします。

まず、議事に入る前に、本日の配付資料の確認をお願いいたします。

【事務局】

総合政策部特命担当副参事の廣井でございます。前回に引き続き、よろしくお願いたします。

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

資料1から8につきましては、前回お配りさせていただいた資料というところでございます。今回お配りさせていただいたのは、資料9以降ということになります。

まず、資料9でございますが、「新宿区外部評価委員会委員名簿（部会別）」というものでございます。1枚紙のペーパーでございます。続きまして、資料10「外部評価委員会の評価方針（案）」でございます。ホチキス留めの資料でございます。続きまして、資料11「令和3年度評価対象施策（施策評価）」、ホチキス留めの資料でございます。続きまして、資料12「評価の流れとポイントについて」というものでございまして、こちらもホチキス留めの資料でございます。続きまして、資料13「内部評価シートの見方」、カラー刷りの資料でございまして、こちらもホチキス留めさせていただいているものでございます。続きまして、資料14「外部評

価チェックシート（案）」でございます。続きまして、参考資料にまいります。参考資料1「令和3年度新宿区外部評価委員会部会開催日程（案）」でございます。こちらもホチキス留めの資料でございます。最後の資料でございますが、参考資料2「個別施策・第一次実行計画事業一覧」でございます。

資料については以上でございます。もしお手元に不足の資料等ございましたら、お手を挙げていただきまして、事務局までよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、配付資料の説明については以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。

では、次第に沿って会議を進めてまいりたいと思います。

まず1番目ですね、部会の編成についてです。

前回の会議でお願いしました、公募区民の方々には部会の希望をお伺いしました。それを参考にいたしまして、配付資料の資料9に委員名簿があります。このように部会の編成をさせていただきたいと考えております。

学識委員については、専門分野に応じて部会長になっていただくということ、それから、団体推薦の皆様については、所属する団体の分野に応じた部会ということをお願いをしたいと思います。

必ずしも、公募委員の皆様方には、第1希望に沿えなかった、第2希望をお願いする方もいらっしゃるかもしれませんが、この表のとおりでお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

よろしく願いいたしたいと思います。

それでは、次ですね。2番目、評価方針についてです。

これも、毎次といいますか、新しい期に入ったときに、評価方針というのを定めているわけですが、これについて、事前に事務局と私も少し相談をさせていただきましたけれども、まずは、案について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、ご説明させていただきます。

ご説明の前に、お伝えさせていただきたいところがございます。

まず、皆様発言いただくときは、お手元のマイクがございまして、そのマイクの本体の下の部分にトークというボタンがございます。発言される場合には、そのボタンを押していただきまして、発言終了後はもう一回押していただいて、発言終了というような形でお使いいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

また、本委員会につきましては、現在緊急事態宣言下という状況にございますので、新型コロナウイルス感染症予防と拡大防止の観点から、会議時間の短縮のため、ご説明についてはなるべくコンパクトにさせていただきます。その場で確認が必要な質問以外の細かなご質問につきましては、メールでご質問いただき、回答については皆様と共有させていただきたいと考

えております。前回に引き続き、ご理解のほどよろしく願いいたします。

それでは、説明に入らせていただきます。

資料10をお手元にご用意いただきたいと思います。

こちらの評価方針につきましては、外部評価委員会の中で重要な位置づけとなるものでございますので、少し時間をかけさせていただきます、詳しく説明させていただければと思っております。

先ほど会長から若干ご説明ございましたけれども、当初に、3年間の進め方ですとか、評価の進め方ですとか、評価に当たっての留意事項というところを定めまして、それに基づいて外部評価を進めていただくというような形となっております。

初めに、1の3年間の進め方についてでございます。

今回、3年間の各年度について、基本的な評価方針をご確認いただきまして、来年度以降につきましては、年度の最初にその年の評価方針について再度ご確認いただきまして、修正の必要があれば適宜修正するというような形を取らせていただければと考えております。

こちら、前回の資料をお持ちの方で、資料5の3ページを改めてご覧いただければと思います。お持ちでない方いらっしゃったら、事務局までお声かけいただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

こちらをご覧いただきますと、区の計画の体系図となっているところがございますが、総合計画の中に基本計画がございます、5つの基本政策の中に個別施策があるというような位置づけとなっております。また、その施策の下に、経常事業、計画事業がございます。

今回の外部評価委員会につきましても、個別の事業の評価に加えまして、より広い視点で評価いただく個別施策を対象とさせていただくというところで、こちらの評価方針を作らせていただいております。

資料10にお戻りいただきまして、はじめに（1）令和3年度でございますが、外部評価の対象は、総合計画の個別施策を評価の対象とします。

当該個別施策を構成する計画事業の評価と関連する経常事業の取組状況を踏まえて、個別施策の評価を行いますとさせていただきます。

なお、個別施策と計画事業については、令和2年度の取組・評価に加えまして、これらが今年度からスタートいたしました第二次実行計画にどのように引き継がれ、課題の解決に向けて取り組まれているかを評価しますとさせていただきます。

こちらは、後ほどご説明させていただきますが、評価シートの中で、昨年度だけではなく、一連の流れが分かるように、評価シートを変更させていただいているところでございます。

また、その下の部分でございますけれども、次年度の評価対象となる個別施策を選定しますとさせていただきます。

続きまして、次年度、（2）令和4年度でございますが、総合計画の個別施策を評価の対象とします。

当該個別施策を構成する計画事業の評価と関連する経常事業の取組状況を踏まえて、個別施

策の評価を行いますとさせていただきます。この部分は初年度と同じでございます。なお書き以降です。なお、個別施策と計画事業については、令和3年度の取組・評価に加え、これらがどのように反映され、令和4年度において取り組まれているかを評価しますとさせていただきます。

また、次年度の評価対象となる個別施策を選定しますとさせていただきます。

続きまして、令和5年度でございますが、上の2行は同様というところでございまして、割愛させていただきます。

なお、個別施策と計画事業については、第二次実行計画の最終年度として、総合的な評価と次期の計画になりますが、第三次実行計画に向けた取組方針について評価を行います。次期の計画に対して外部評価委員会から提言を行うとさせていただきます。

なお、委員任期最終年というところになりますので、次年度の評価対象となる個別施策の選定は行わず、次期委員会、第6期で選定するということで、こちらについては、上2つには入っている部分は入っていないというところでございます。

続きまして、2番にまいりまして、評価の進め方でございます。こちらは、1年間の全体の流れについて示している部分でございます。

まず、(1)内部評価等の確認でございます。こちらは、6月上旬から6月中旬ぐらいを予定してございます。

①の内部評価シート、施策評価、計画事業評価、経常事業取組状況というところでございますが、外部評価を行うに当たりまして、内部評価シートを基礎的な資料としますというところでございまして、まず、区の内部で作成いたしました評価シートを、基礎的な資料としていただくというところでございます。それで、内部評価シートをよく読んでいただきまして、その施策ですとか事業を理解していただきます。

内部評価シートの見方については、この後詳しくご説明させていただきます。

続きまして、②過去の評価結果でございます。評価の継続性という観点から、過去の評価結果をご確認いただけますと、評価の継続性が保たれるというところがあるかと思えます。

ただし、これまでの評価を全て確認することは非常に困難というところがございますので、皆様にお配りしております前々年度ですが、令和元年度の評価結果を参考に確認いただければと思っております。

お配りした冊子については、適宜ご確認いただければと考えております。

続きまして、次ページご覧いただきたいと思えます。2ページでございます。よろしいでしょうか。

(2)ヒアリング等の実施でございます。こちらにつきましては、6月下旬から7月末までを予定してございます。部会につきましては、今年度、令和3年度は事前準備といたしまして、勉強会、ヒアリングと取りまとめで、計8回程度予定してございます。

①の学習会(論点整理等)でございますが、各部会におきまして、所管課とのヒアリングに向けて、評価対象の個別施策、計画事業や経常事業について、施策体系や事業の概要などの事

前の学習を行いまして、質問事項等も含めた論点整理を行うとさせていただきます。

また、その下の②ヒアリングでございますが、評価対象の個別施策及び計画事業、経常事業について、ヒアリングを実施しますとさせていただきます。こちらにつきましては、その事業を所管している課長の施策ですとか事業の説明を受けまして、質疑応答を行うというように予定しております。

③の現地視察でございます。内部評価シートですとかヒアリングだけでは分からない場合もございますので、必要に応じて、評価対象に関連する施設ですとか現場に出向きまして、現地視察を行っていただくというところでございます。

その下で、④文書質問でございますが、ヒアリングにおける質疑応答の補足といたしまして、ヒアリングを行う前ですとか、ヒアリングを行った後に聞き忘れがある場合に、文書質問を行っていただくということが可能でございます。こちらにつきましては、事務局の企画政策課を通じまして、所管課に文書によって質問をするという形を取らせていただくことを予定しております。

続きまして、(3) 個人としての評価でございます。こちらは7月頃を予定しておりまして、まず、(1) の内部評価等の確認いただきまして、(2) のヒアリング等の実施を踏まえて、個人としての評価を行っていただくというところでございます。区が実施いたしました内部評価を踏まえて、評価を行っていくというところでございますが、評価に当たりましては、こちら後も後ほどご説明させていただきますが、外部評価チェックシートを使っていただくというところでございます。

評価の理由ですとか意見につきましては、趣旨を明確に分かりやすく記入していただくというところでございまして、その後の部会の取りまとめの中で、皆様にご記入いただいた意見につきましては、他の委員と共有をさせていただきます。進めていくというようにところがございまして、分かりやすくご記入いただきますよう、よろしく願いいたします。

また、施策評価ですとか計画事業評価における評価につきましては、評価の理由を記入していただきます。

個人として評価を記入した外部評価チェックシートにつきましては、事務局に提出していただくという流れとなっております。

(4) 部会としての評価でございます。こちらは8月頃を予定してございまして、上の(3) の個人としての評価を基に部会ごとに審議をいたしまして、部会としての評価をまとめるというところでございます。

部会では、皆様に作成いただいた外部評価のチェックシートを、施策、事業ごとにまとめたものを基に審議していただくというところを想定しておりまして、部会としての評価を取りまとめを行うというところでございます。

その下、(5) 委員会としての評価でございますが、こちらは10月頃を予定しておりまして、部会としての評価を基に委員会としての評価をどのようにするか、委員会全体で審議をいたしまして、委員会としての評価を取りまとめますというところになります。

その後、外部評価結果を区長に、11月頃に報告するというところを予定しております。

その下の(6)新型コロナウイルス感染症への対応というところでございます。外部評価の実施に当たりましては、新型コロナウイルス感染症予防と拡大防止の対策を講じた手法によることとしますとさせていただいております。原則は、3密の回避やソーシャルディスタンスの確保など、感染症対策を行い実施しますということにさせていただいております。新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、勉強会、ヒアリング、現地視察、取りまとめの各段階においては、書面ですとかオンライン、動画配信により実施しますとさせていただいております。続きまして、3ページご覧いただきたいと思っております。

こちら、最後となりますが、3番、評価に当たっての留意事項(外部評価三原則)でございます。

こちらの評価に当たっての留意事項といたしまして、外部評価三原則というところでお示しをさせていただいております。これだけはぜひ念頭に置いていただきたいというところを、3点挙げさせていただいております。

まず、(1)の外部評価に当たってというところでございますが、内部評価を踏まえ、区民の視点、つまり生活者としての視点、サービスの受け手としての視点、協働の相手方としての視点、専門家としての視点などに立って評価を行いますというところでさせていただいております。事業の要・不要について評価を行うものではありませんとさせていただいております。

続きまして、(2)の評価の理由や意見を明確にするというところでございまして、行政評価の目的の1つに、説明責任を果たすことがあります。内部評価はもちろん、外部評価においても、評価を行うに当たっては、自分の意見等を明確にし、分かりやすく伝えるようにしますとさせていただいております。

(3)でございますけれども、責任と思いやりを持つとさせていただいております。委員会は原則として会議を公開としております。委員会における発言は全て公になることを意識し、責任を持った発言をしますとさせていただいております。また、委員会の議事は、最終的には出席委員の過半数をもって決することになっています。これは、新宿区外部評価委員会条例第8条に規定がございます。

しかし、これまで委員会では、十分議論の下、全体の合意を得た1つの結論を導き出してきたという経緯がございます。議論に当たっては、自分の意見を主張することも大切でございますが、相手の意見を真摯に受け止めていただきまして、尊重していただき、互いに協力して全体としての1つの結論を作り上げることが大切ですよということで、お互いを思いやった有益な意見のキャッチボールを行いますとさせていただいております。

外部評価委員会の評価方針(案)についてのご説明につきましては、長くなりましたが、以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。

若干私のほうから補足したいと思います。

まず、1番目の3年間の進め方のところなんですけど、これは、前期より変更というか、新しい考え方を取り入れています。それをちょっと説明したいのですが、先ほどあった、前回資料の資料5の関係、つまり計画の構成のところの説明がありましたけれども、基本構想が最上位の計画になっていて、総合計画、実行計画、そして単年度の計画事業があると、そういう行政の進め方をしているわけです。

前期は施策評価にしました、その前は個別事業の評価をしていたんですが、そのときというのは、この計画体系の図でいうと、一番右側の計画事業を単年度ごとに区として評価するということをしていました。前期からは施策評価をしましょうということなので、この基本計画にある個別施策、つまり実行計画レベルを評価しようというレベル、一段上というか、1つ上のサイクルについての評価をするということにしたわけです。

それを、前期のときは、施策評価というのが初めてだったので、ちょっと模索的な取組になっていたことは否めないと思うんですが、今期については、この実行計画レベル、つまり、それは個別施策ということになります、それを評価するということを鮮明にし、次期の、つまり、今期、その次の実行計画に今期の評価を反映してできるようにしようと、そういうPDCAというサイクルを明確にしたいというふうに考えています。

それで、この進め方のところのなお書きが、(1)、(2)、(3)、それぞれの年度の1、2行目は全く同じですが、なお書きが少し踏み込んでいるわけです。踏み込んでいるというか、新たな考え方を加えています。

まず、令和3年度のなお書きのところは、前期ですね、第二次実行計画からどのように変更になったのか、その取組がどう反映されて、今期の令和3年度の取組に反映されているのかということを見ましょう。これは、初めてのことです。それから、令和4年度については、このなお書きは、前年度の取組評価が、来年度にどういうふうに反映されているのか、これを見ましょう。そして、令和5年度のところのなお書きでは、第二次、今期の実行計画から第三次に向けて提言をしましょう、ということ、これは初めてのことです。つまり、3年間かけて、評価を単年度きりでやるのではなくて、3年間かけて次期実行計画に反映する評価をしていこうと、それをちょっと鮮明に出したということを考えております。

ですから、今年度の施策の評価、対象をどれにするかというのは後であります、この結果も、それから来年度の施策評価の結果も、全部ひっくるめて、ひっくるめてというか総合して、令和5年度の最終的な提言にすると、そういう流れにしたいと考えました。これが、すごい重要な点です。

それから、今期からご参加いただいている委員の皆様もいらっしゃいますので、少し補足すると、3ページ目の評価に当たっての留意事項というものも、こんなこと言われたくないみたいなことが書いてありますが、これは、私は直接接していないんですが、かつては、特に(3)を言わなくちゃいけないような状況があったそうです。それで、これが書いてあるということです、ご参考にされたほうがいいかなと思います。

以上なんですけど、では、皆さんからご意見、ご質問いただきたいと思います。いかがでしょ

うか。

はい、どうぞ。

【委員】

今の資料にあたってで、3ページの3の(1)外部評価に当たってというところで、事業の要・不要について評価を行うものではありませんと書いてあるんですけども、委員会として、その事業に対して評価が低かった場合は、その事業自体なくなる可能性もあるということですか。

【会長】

それは、私が答えるかどうかはあれですけども、区が、区としての判断として、そうだなと、やめようと思うのはある、否定されないと思います。この行政評価で、やめろというようなことを言うものではないということです。

【委員】

ありがとうございます。

【事務局】

事務局から補足で説明させていただきます。

2009年頃に国の行政刷新会議で実施された手法に、事業仕分けというのがあったかと思いますが、そういうものではありませんというところを、お伝えさせていただければというところ、この文言は入れさせていただいたというところでございます。

【会長】

ほかにはいかがでしょうか。

1番目の3年間の進め方のところは、ご理解いただけましたでしょうかということも含めて、ご発言があればお伺いしたいと思います。

よろしいようですね。

ありがとうございました。

じゃ、これを、案を取って正式のものにしたいと思います。ありがとうございます。

次は、次第の3番、評価対象施策についてです。

じゃ、事務局から説明お願いします。

【事務局】

それでは、また事務局から説明させていただきます。

初めに、お配りした資料の、一番後ろにつけております、細かい字で恐縮でございますけれども、参考資料2、カラー刷りの資料になってございますが、「個別施策・第一次実行計画事業一覧」というのをご覧いただきたいと思います。

こちらにつきましては、全施策を並べたというようなものでございまして、全部で個別施策については33施策ございます。こちらの中で、グレーの網がけとなっている部分がございますが、この網がけとなっているものが、平成30年度と令和元年度に外部評価を行ったものとなりまして、また、施策名の後ろに赤字で、括弧書きで「令和2年度内部評価のみ」と記載がある

ものがございますけれども、こちらは6本でございます。こちらの6本につきましては、昨年度外部評価ができなかったものとなっております。

そのうち6つにグリーンで網かけさせていただいた部分がございますが、こちらが、飛んで申し訳ございませんけれども、資料11をご覧くださいまして、今回事務局で、この6つの中から3つをピックアップさせていただいて提案させていただくというところがございますが、第1部会、第2部会、第3部会ということで、それぞれ挙げさせていただいております。

こちらにつきましては、全体のボリューム感ですとか施策を構成する計画事業、経常事業の数等を勘案いたしまして、また、外部評価委員会初年度となりますので、各部会1施策とさせていただきますまして、また、内容的に、区としてぜひ外部評価委員会に評価していただきたいものというところで、選択をさせていただいたものでございます。

第1部会につきましては地球温暖化対策の推進、おめくりいただきまして、第2部会につきましては障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備、続いて、もう一枚おめくりいただきまして、第3部会についてはまちの歴史や記憶、文化、芸術など多様な魅力による賑わいの創造というところで挙げさせていただいたところでございます。

説明につきましては以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。

先ほどの評価方針で、今期3年間で次期実施計画に向けて反映できる、していただくような評価をしようということをお願いしましたが、本来ですと、この参考資料2の個別施策を全部やらなくちゃいけないということになるのですが、それは現実的ではないので、選定しなければいけないということになります。

それで、今のご説明のように、新しい期になったので、新しくさらなもので選べばいいという考えもありますが、やはり昨年度評価できなかった、区としてはやはりこういうのを評価してほしいという面もあって、どの施策が重要で、どの施策が重要じゃないかというのは別に、客観的に決まるわけじゃありませんけれども、やっぱり区としては、特に重点的に取り組んでいるこの施策を評価してほしいというお考えも当然あって、それで前期やってきて、昨年度取り組めなかった、この資料11の3つの施策について今年度はやりたいということです。

ということで、これについてご質問、ご意見あれば、お願いいたします。

よろしいでしょうか。

では、今年度はこれを、提案のあった3つを評価するということにしたいと思います。

では、次第の4ですね、評価の流れとポイントについてということです。

これについて、また事務局からお願いします。

【事務局】

事務局から説明させていただきます。

お手元に資料12をご用意いただきたいと思います。

こちらの評価の流れとポイントというところで題しまして、評価の流れにつきましては、内

部評価、外部評価、内部評価と外部評価結果を踏まえた区の実践というところで、ここでは区の総合判断と呼ばせていただいているものがございますけれども、この流れで進んでまいります。

こちらの参考事例として付けさせていただいた事例は、令和元年度の施策評価というところがございます、第一次実行計画の平成30年度事業実施分、基本政策Ⅰ、個別施策5、未来を担う子どもたちの生きる力を伸ばす教育の充実を挙げさせていただいております。

まず、おめくりいただきまして、オレンジ色っぽい内部評価シートをご覧くださいと思います。

こちらは、内部評価の施策評価シートでございますが、まず、総合評価のところ、以上のことから、目指すまちの姿の実現に向けて、おおむね成果を上げていると評価しますということで、内部の評価が出たというところがございます、取組状況については、おおむね順調に進んでいると評価をしているところがございます。

続きまして、もう一枚おめくりをいただきまして、こちらが外部評価の結果を抜粋したものでございまして、外部評価結果については、内部評価と同じく、おおむね順調に進んでいるという評価結果となったところがございますが、こちらの下から2行目、※1のところをご覧くださいと思いますが、「しかし、ICTを活用したプログラミング教育や「小中連携型地域協働学校」の実施に向けた今後の展開については、課題の共有と効果検証に基づき、丁寧にしっかりと検討していく必要があると考える。」と、次ページに入りまして、また、取組の方向性に対する意見の部分でございますが、下のほうの※2の部分でございますが、「今後、「チームとしての学校」の取組を広げていく際には、これまで以上に多様な人材との連携が必要となる。それらの人材の果たしている役割と待遇との間に齟齬が生じないよう十分に配慮しながら、取り組んでほしい。」という外部評価の意見をいただいたというところがございます。

その次のページでございますが、こちらが総合判断というところがございます、区の総合判断の部分でございます。こちらのページで、まず、下側の部分でございますけれども、外部評価意見というところで、外部評価の意見がございまして、右側が、内部評価と外部評価を踏まえた区の実践という部分でございます、先ほどの※1番と2番の部分につきましては、先ほど内部評価の意見と同様のものが記載されているというところがございますけれども、まず、※1番につきましては、「ご指摘のプログラミング教育の推進については、モデル実施を踏まえ、各校での実践事例」、次ページへまいりまして、「や教材等を共有するとともに、ICT支援員による授業のサポートの充実を図るなど、プログラム教育の本格実施に向け、支援体制を強化していきます。また、小中連携型地域協働学校では、これまでの実施内容を踏まえ、効果検証を徹底し、各地区の地域性等を十分考慮しながら連携を深めていきます。」ということで、区の対応が記載されているというところがございます。

また、※2番の部分についても、「今後も、計画事業34「チームとしての学校の整備」で示した「部活動を支える環境の整備」「専門人材を活用した教育相談体制の充実」「地域協働学校の充実」のみならず、子どもたちの資質・能力の育成等のため、学校運営に携わるスタッフの資質向上や待遇面にも配慮しながら多様な外部人材の活用を図り、教育活動の充実につなげ

ていきます。」という方向性を示しているというものでございまして、こちらの例に挙げさせていただいたように、外部評価意見に対しまして、区の対応というところで記載がございましたけれども、所管部署との有益な言葉のキャッチボールを是非していただきたいというようなところでございまして、よりよい方向性を導き出せればというようなところで考えております。

続きまして、資料13でございまして、こちらが内部評価シートの見方でございます。お手元にご用意いただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

こちらにつきましては、全体的な説明をさせていただくところでございますが、一度にお伝えしても、なかなかご理解いただくのは難しい部分もあるかと考えておりますので、こちらの資料につきましては、委員の皆様方に、今後実際に外部評価シートをお渡しした際に、適宜参照いただきながら活用いただければと考えている資料でございまして、よろしくお願いをいたします。

まず、①の施策評価シートでございまして、

一番上の欄は、基本政策ですとか、個別施策の番号等記入してある欄がございまして、個別施策名が記入されているというところでございます。

その下のめざすまちの姿・状態のところでございますけれども、区が目指す将来のまちの姿や状態を、区民の目線から分かりやすく示している欄でございます。

その下の分析・評価欄というところでございますけれども、こちらにつきましては、第一次実行計画の実績を踏まえて分析を行いまして、また、令和3年度からの第二次実行計画にどのように引き継ぎまして取り組んでいるかというところについて、記載しているという欄でございます。

分析のところでございますけれども、役割（妥当性）、効率性、有効性、成果の4つの視点を設けまして、それぞれについて選択肢を設けているところでございますが、役割につきましては、各主体は、役割に基づき適切に取り組んでいるか、効率性については、各事業は費用対効果の観点から効率的に取り組んでいるか、有効性については、各事業について、区民ニーズですとか地域課題に的確に対応し取り組んでいるか、成果については、各事業は成果を上げているかの、その4つの視点で評価しているというようなことでございまして、総合評価については、4つの視点に基づきまして、その施策を構成する計画事業がございまして、その計画の事業の評価ですとか、経常事業の取組状況を踏まえて、総合的に評価を行う欄ということになっております。

その下の今後の取組の方向性というところでございますが、課題・ニーズ等につきましては、個別施策を構成する計画事業・経常事業のニーズ等について記載してある欄というところでございまして、取組の方向性については、施策の評価ですとか施策を構成する計画事業・経常事業の取組状況、施策の課題等を踏まえて、今後の方向性を記載してある欄というところでございます。

もう一枚めくっていただきまして、②の計画事業評価シートでございまして、

こちら、上からご説明をさせていただきますと、基本政策、個別施策、計画事業の番号を

記入する欄がございますけれども、計画事業名を記入する欄がございます。この部分は、この計画事業が、区の計画の中でどこに位置づけられているのかを示しているというような部分でございます。また、関係する法令欄ですとか事業概要について、それぞれ説明があるというところがございます。

また、その下の欄でございますけれども、令和2年度の取組・評価欄というところがございます。こちらについては、令和2年度に実施した本事業の実績ですとか取組について分析を行いまして、それを踏まえた評価を記載しているという欄でございます。

また、取組方針（当初予定）という欄がございますけれども、その下に新型コロナウイルス感染症による事業内容の変更があったかという欄でございます。また、評価の可否という欄を今回設けさせていただいております。原則として、評価を実施するというところでございますが、事業の中身によっては、取組の大半を中止にせざるを得なかった場合などがございましたので、その影響が大きい場合には評価できないというものもあるというところがございます。

実績欄については、事業の実績を簡潔に記入する欄というところがございます。その下の指標欄でございますが、事業の進捗ですとか成果を表すものということで、各事業の目標設定をしているものがございます。指標につきましては、行政活動の実績ですとか成果を表すものというところで位置づけをさせていただいております。指標の中には、成果指標といたしまして、活動の結果、目的に照らしてどのような成果があったものかを示すもの、活動指標といたしまして、事業として何をどれだけ実施したかを示すものというところで、こちらは、事業によっていろいろな指標がございます。指標ごとに、指標名、定義等を設定しております。年度ごとに目標値ですとか実績値、達成度を記載している欄というところがございます。

こちらは、令和2年度の実績だけではなくて、実行計画期間を通じた達成状況も確認できるようにしている欄というところがございます。

また、その下の評価欄でございますけれども、妥当性、効率性、有効性、成果の4つの視点、先ほどの施策評価のシートでもございましたが、それぞれの2つの選択肢というところで設けているというところがございます。適切、改善が必要、もしくは効果を上げている、上げていないというところで選択して、評価をしている部分というところがございます。

こちらにつきましても、4つの分析の視点ですとか、事業の進捗状況、成果等を踏まえまして、令和2年度に実施した事業の実績ですとか取組について、総合的に評価を行っているというものでございまして、評価結果につきましては、計画以上、計画どおり、計画以下というところから選択するようになってございまして、ただ、今回、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、当初予定していた取組が縮小ですとか中止となった場合でも、代替手段ですとか工夫によりまして、事業目的の達成に向けて適切に取り組んだ場合については、計画どおりとなっているものもございます。

また、評価の視点において、改善が必要すとか、上げていないと選択した項目については、原則、この欄に理由ですとか、そういったことについて説明していただくというところ

でもございます。

また、令和2年度につきましては、第一次実行計画の最終年度でもあることから、第一次実行計画期間を通じて評価も、この欄に記載しているというようなところでございます。

すみません、1枚おめくりいただきまして、こちらのページは、同じく計画事業シートの内部評価シートの2ページ目というところになります。こちらにつきましては、令和3年度の進捗状況というところで、お示しをさせていただく欄となっております。

こちらは、第二次実行計画において、どのように事業を引き継いでいるのかを示す欄というところがございます。第二次実行計画の事業名というところがございますけれども、第二次実行計画に引き継いだものについては、その事業名がこちらに記載してあるというところがございます。令和3年度から第二次実行計画がスタートしておりますので、令和2年度に実施した第一次実行計画の取組の事業が、第二次実行計画事業とどのような関係にあるのかというところでお示しをさせていただく欄というところがございます。また、関連区分というところが右上にございますけれども、こちらは、継続、拡充、縮小、統合、分割、終了、経常事業化とその他というところで、それぞれ選択するような形となっております。

その下の部分でございますけれども、第二次実行計画における取組方針という欄がございますが、令和2年度の評価ですとか事業の課題、事業の取組状況を踏まえまして、第二次実行計画における取組方針を示している欄というところがございます。

また、その下の課題・ニーズ等につきましては、事業の課題ですとかニーズとして、どのようなことがあるのかを記入してある欄というところがございます。こちらのシートに現在は記載がないというところがございますが、これから、本年度の事業進捗の確認というものも、事務局で順次進めていくというところを予定してございます。

この進捗状況の課題・ニーズ等の下に、まず、6月末現在のこの事業の進捗状況を事務局で取りまとめまして、外部評価委員会にも、今年度の事業進捗というところで情報提供させていただければと考えてございます。

また、事業形態の欄でございますけれども、こちらの部分につきましては、市場性ですとか必要性というところで選択する欄というところがございます。市場性につきましては、収益性がなく民間参入が難しいのか、収益性があって民間においても提供できるのかですとか、必要性の部分については、多くの区民が必要とする基礎的サービスなのか、そうではないのかというところで、選択しているところがございます。

その下の事業経費欄でございますけれども、平成30年度、令和元年度、令和2年度の各年度の事業経費を記載している欄というところがございます。また、右から2番目の欄でございますけれども、その合計額を記載してございます。こちら、予算現額については、補正予算等によって変更したものの中にはございますけれども、最終的な予算額が入っているというところがございます。事業経費につきましては、その事業に要した経費、財源につきましては、一般財源と特定財源というところがございますけれども、こちらは専門的にお話になりますが、財源の使い道が特定されている財源であるのか、特定されていない財源であるのかというこ

ろを示しているというところがございます。執行率につきましては、その予算現額に対しての事業経費を使った割合というところで、最後に入れていたという形でございます。

すみません、長くなりましたが、また1ページおめくりいただきたいと思います。

こちら、最後でございますけれども、経常事業取組状況シートでございます。

こちらについては、基本政策、個別施策番号を記入、個別施策名を記入という欄は、先ほどのシートではこの枠内に入っていたんですが、一番上のところに示しているというところがございますが、経常事業名につきましては、ここに事業名というところで記載がございまして、事業概要の欄があるというところがございます。

取組内容、実績、事業手法など、令和2年度の内容について記載してある部分というところがございます。取組状況につきましては、適切、改善が必要の2択で選択しているというところがございます。また、改善が必要と仮に選択した場合については、今後の取組方針というところで、取組内容や実績なども併せて記載しているというふうなものでございます。

こちらについては、個別施策を理解するための参考資料というところがございます。評価というところではなくて、事業内容ですとか取組状況を確認していただくものとして、位置づけをさせていただいております。

長くなりましたが、資料の12、13の説明は以上でございます。

すみません、長くなりまして恐縮です。

最後に、資料14、外部評価のチェックシートについて、ご説明をさせていただきます。

これからご説明させていただく外部評価のチェックシートにつきましては、個人としての評価をまとめる際にご使用いただくものというところがございます。皆様にご作成いただいた外部評価のチェックシートにつきましては、事務局に提出していただく予定としております。

それらの外部評価チェックシートを事務局で、施策ですとか事業ごとにまとめたものを基に、審議をしていただくというところを予定しております。部会としての評価の取りまとめにつなげていくものということでございます。

初めに、資料14の1枚目、外部評価チェックシート（施策評価）（案）を、まずご覧ください。こちらのシートでございますが、総合評価の欄につきましては、その評価をご記入いただくというところがございますが、必ずこちらに評価の理由をご記入いただくというところになっております。それ以外の項目については、意見がある場合にご記入いただく欄とさせていただきます。

また、1枚おめくりいただきまして、外部評価チェックシート（計画事業評価）（案）でございます。こちらは、先ほどのシートと同じく評価欄がございますけれども、評価と理由を記入していただくというところと併せまして、評価区分、この事業が計画以上なのか、計画どおりなのか、計画以下なのかというところを評価いただいて選んでいただくというところがございます。また、それ以外の項目については、ご意見がある場合にご記入いただくというところにしております。

また、もう一枚おめくりいただきまして、外部評価チェックシート（経常事業取組状況）

(案)でございます。こちらにつきましては、先ほどご説明させていただきました経常事業取組状況のシートがございましたけれども、それをご覧いただきまして、ご意見がある場合にご記入いただくシートとなっております。

すみません、大変長くなりましたが、評価の流れとポイントについての説明につきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。

ご説明があったが、全体の評価をどういう手順で進めるかの、どういう資料で進めるのかということ、それぞれのシートの内容というところになります。

これ、今のですと大体例年どおり、基本的には同じだということ。若干そのシートのフォーマットが変わっていたりとかもしますけれども、今の説明に質問なりご意見があればお願いします。

よろしいでしょうか。

やりながらというところが、当然あると思いますので。具体的に始めると悩むことがあるかもしれませんが、その都度議論して進めていきたいと思います。

さて、それでは、最後ですね、部会の日程調整についてということですが、お願いします。

【事務局】

それでは、事務局から説明させていただきます。

前回お配りした資料で、資料7です、カラー刷りの、令和3年度外部評価委員会スケジュール案というものを、お手元にご用意いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

前回は説明させていただいた部分と重複するところがございますが、まず、外部評価委員会につきましては、先月、4月16日に第1回目を行いまして、今、第2回というところで開催させていただいているところでございます。

その後でございますけれども、6月中旬以降、各部会が始まるというところでございますが、まず、勉強会、論点整理をいたしまして、部会ごとの評価というところがございますけれども、ヒアリング等を行わせていただくという流れとしております。

その後ですが、部会ごとの取りまとめというところがございますが、部会5、6というところで8月に予定させていただいているところがございますけれども、その取りまとめを行いまして、10月、全体会③、④とございますけれども、全体会、この委員会全体での取りまとめを行いまして、11月、区長に外部評価の実施結果ということで、その報告をする予定としております。

その後、期間は空きますが、3月に入りまして、区の総合判断の報告というところで、全体会の5回目を予定しているところがございます。

こちらをご覧いただいた上で、参考資料1をご覧いただきたいと思います。

こちらにつきましては、皆様にスケジュール、予定を教えていただきまして、各部会ごとに

皆様のスケジュール合うというところで組ませていただいたものというところでございます。

ヒアリングなどの日程につきましては、4日プラス予備日2日というところで、計6日で組ませていただいております。また、取りまとめ、8月になりますけれども、2日プラス予備日1日ということで、計3日というところで組ませていただいております。

部会の1回目につきましては、先ほど申し上げましたとおり、勉強会ですとか論点整理を予定しております。各施策の事業課長のヒアリングについては、2回目、3回目というところで予定をさせていただいているところでございます。

こちらにつきましては、第1部会については、6月に第1部の部会開催予定ということでございまして、第2部会、第3部会については、6月、皆様のご都合がつかなかったというところございまして、なしといったところでございます。7月に入りまして、それぞれ日程ございますけれども、6月も含めまして、2回目、3回目が、先ほど申し上げました所管課長とのヒアリングを予定しているというものでございます。

また、予備日につきましては、予備日でない日程で、どうしてももう少し議論が必要になるとか、そういった場合には使っていただくというところを想定しております。それぞれ7月は2日間、8月は1日ご用意しているというところでございます。

このペーパーを1枚めくっていただきまして、見にくくて恐縮でございますが、このカレンダーで示しているところでございますけれども、丸数字が各部会の数字というところでございます。その丸数字の横が、今日は第3委員会室というところで開催しておりますけれども、全て第3委員会室をご用意することができなかったというところがございますので、場合によっては、第2委員会室ですとか第4委員会室を予定させていただいているところもございます。

また、こちらの赤字については、予備の日程というところでお示しさせていただいているところでございます。

説明につきましては、以上でございます。よろしく申し上げます。

【会長】

ありがとうございました。

勉強会、論点整理というのを一度やり、その次にヒアリングを2回やるという組立てになっているわけです。これは、ヒアリングを効果的に進めるために、事前にそれぞれの委員の皆さんが、あるいは部会として、何を特に確認したいのかということを確認にしようじゃないかという意図なわけですね。

ちょっと事務局にお伺いしますが、そういうことのためには、この勉強会というときに、その内部評価シートが、初めて見るのではなく、事前にお送りいただいて、それを各委員の皆さんが見た上で、ここを確認したいというようなことを、少しお持ちいただいてこの勉強会に臨んだほうが、より効果的だと思うんですが、そういうことは可能ですか。事前に内部評価シートをお送りいただくということは。

【事務局】

事務局からお答えさせていただきます。

現在、課の内部で、内部評価シートの取りまとめ作業というのを行っておまして、5月下旬に取りまとめ作業が終了する予定となっております。

評価対象の施策・事業についてのシートにつきましては、ご用意でき次第、5月下旬から6月上旬にかけてとなる予定でございますけれども、委員の皆様へ郵送でお送りさせていただく予定としております。

また、そのシートだけだと、何だか中身がよく分からないという方も当然出てくるかと思えますので、各事業の所管課に、参考資料ということで、冊子ですとかチラシですとか、そういったものをファイルにとじまして、委員の皆様へご提供させていただくことも予定しております。

こちらの資料は分厚い関係もございますので、第1回の部会の際に、冊子ですとかパンフレットですとかチラシですとか、そういったものについては、お渡しさせていただきたいと考えております。

よろしくお願いたします。

【会長】

ありがとうございます。

それともう一点伺いたいんですが、ヒアリングをやっぴり効果的に進めるためには、ヒアリングの場で、内部シートの説明をしていただく必要はないと思うんですよ、それは時間ももたないで。むしろ、極端に言えば、いきなり質問からでもいいような気がするんですが、そのために、そのためにというか、やはり、今、参考資料を準備いただけるというお話でしたが、やはり少し細かいデータとか、出していただきたい資料が恐らくあると思うんですよ。それを、例えば勉強会の際に、こういう資料が欲しいということをリクエストしたときに、ヒアリングの第1回目に準備いただくということが、ちょっと日数が近いところは厳しいかもしれないんですが、そういうふうになるとより効果的かなと思うんですが、いかがでしょうか。

【事務局】

その点につきましても、準備できるものはご用意させていただきまして、ヒアリングの際にご提示させていただければと思っております。

【会長】

第2部会は、金曜日に勉強会やって5日にヒアリングだから、ちょっと過重労働になるかもしれないんですけども、できる範囲でお願いできればと思います。

皆さんから、何か今の件についてご発言があればお願いします。

はい、どうぞ。

【委員】

机の上にたくさんこの資料の箱があるかと思うんですけども、なかなか持ち帰るのが難しく、中身をまだ読んでいない状態なんですけども、部会前までに読むべき資料とか、持ち帰ったほうがいい資料とかってございますでしょうか、何か参考になるために。

【事務局】

そうですね。基本的には、内部評価のチェックシートをまず最初に見ていただいて、内部評価のシートを見ていただいてというところになりますので、先ほど説明の際に使わせていただいた資料13はお持ち帰りいただいて、これを見ながらシートを見ていただければというふうには思っております。

【会長】

資料13って何でしたっけ。

【事務局】

内部評価シートの見方というところでございますけれども。

【会長】

あと、私が思うには、先ほども確認しましたように、総合計画があつて、実行計画があつて、その下に施策が並んでいて、個別事業という構成ですよ。だから、総合計画が一番大きな目標を提示しているの、それを実現するための実行計画があつて、個別事業がありますから、総合計画で言っていることがちゃんと反映できているのかという、そういう関係性をご確認いただく必要があるかと思っておりますので、その総合計画や第二次実行計画をお持ち帰りいただければいいんじゃないでしょうか。

多分、ホームページにも出ているから、見られるんじゃないですかね、区のホームページに。その手の、全部出ていますよね。

【事務局】

区のホームページには、それぞれ掲載してありますので、場合によっては、そちらもご参照いただきながらというふうには思っております。

【委員】

ありがとうございます。

【会長】

ほかにいかがでしょうか。

では、こういう日程を進めていきたいと思えます。

では、以上で本日の議事は全て終了ですけれども、何かほかに皆さんからご発言あれば、いただきたいと思えます。よろしいでしょうか。

じゃ、何か事務連絡があれば。

【事務局】

では、事務局から事務連絡をさせていただきます。

先ほど、提示させていただいたスケジュールでございますけれども、もし現時点で既に都合が悪いというようなところございましたら、後ほど事務局までご連絡いただきたいと思えます。

また、次回より、各部会に分かれて事前準備とかヒアリング、評価の取りまとめに入っていくというところでございますが、開催通知につきましては、開催の一、二週間前までに送付を

させていただく予定としております。

また、先ほどの説明と重複いたしますけれども、評価対象の内部評価シートにつきましては、5月下旬から6月上旬にかけて送付させていただく予定です。また、場合によっては、内容の修正等がある可能性もございますので、その場合は、後日差替え用のシートをご用意させていただいて、ご案内させていただくことを予定しております。

また、本委員会でございますが、次の全体会につきましては、先ほどご説明させていただきましたが、10月を予定しております。

事務局からの事務連絡については以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。

では、本日の会議はこれで終了したいと思います。

ありがとうございました、お疲れさまでした。

<閉会>